

産学連携学会 第15回大会

【とちぎ大会】開催のご案内

開催日

平成29年 6月15日(木)・16日(金)

場所

栃木県総合文化センター

〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8

主催

特定非営利活動法人
産学連携学会

共催

国立大学法人
宇都宮大学 他

大会運営

大会長 石田 朋靖 宇都宮大学長
副大会長 小林 辰興 公益社団法人
栃木県経済同友会筆頭代表理事
実行委員長 池田 幸 宇都宮大学 理事・副学長

参加申込期間

平成29年 1月26日(木)(予定)～4月6日(木)

発表要旨提出期限

平成29年 4月13日(木)

お問い合わせ

大会事務局

TEL 028-689-7000,6316 (宇都宮大学
地域共生研究開発センター)

E-mail sangaku2017@cc.utsunomiya-u.ac.jp

プロメテウスの火

人類は火とそして知恵を授かり、しかし未来を知る能力を失った。代わりに得たのは、希望であった。今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

参加申込等の詳細のご案内は1月下旬を予定しております。
学会ホームページやメールニュースでご案内いたします。

特定非営利活動法人
産学連携学会ホームページ

<http://j-sip.org/>

大会概要

開催日/2017年6月15日(木)・6月16日(金)

場 所/栃木県総合文化センター

〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8

TEL 028-643-1000 URL <http://www.sobun-tochigi.jp/>

特別講演

「『よきモノづくり』へのこだわりと社会・地域への貢献」(仮題)

花王株式会社 代表取締役社長 澤田 道隆 氏

シンポジウム

「地域の強みを生かす技術の創造と発信」(仮題)

地域にはそれぞれ特有の産業(産)とそれを支える大学等の研究機関(学)および自治体(官)があります。たとえば栃木県には光産業があります。地域の強みを生かす技術の創造と発信が地域のみならずわが国の発展に繋がります。

そこで、このシンポジウムでは、地域における光学技術を事例とし、産学官のおのこの活動(連携を含む)を紹介し、創造と発信のための課題と展望を議論します。

栃木県および宇都宮市はこんなところです。 お越しをお待ちしております

栃木県: 栃木県は関東地方北部に位置し、大手企業の生産拠点や技術力の高い中小企業が集積する“ものづくり県”です。また、日光国立公園をはじめとする美しい自然や、世界遺産日光の社寺に代表される歴史と文化、そして47年連続生産量日本一であるいちごや、かんぴょう、ニラ、二条大麦等の地域性豊かな農産物を有しています。

宇都宮市: 市制施行120年を迎えた宇都宮市は、東京から北へ100km、栃木県のほぼ中央に位置する人口約52万人の北関東最大の都市です。餃子、カクテル、ジャズ、大谷石の街として知られているほか、アジア最高位の自転車ロードレース「ジャパンカップサイクルードレース」が毎年開催される自転車の街でもあります。



日光華厳の滝



スカイベリー



大谷景観公園



ジャパンカップ

■宇都宮市へのアクセス(新幹線)

東京から宇都宮 約50分

仙台から宇都宮 約70分

■大会会場へのアクセス

JR宇都宮駅(西口)から約1.6km。

バス便多数あり。

「JR宇都宮駅(西口)」から大会会場近くの「県庁前」までバス乗車時間は約5分。

宿泊など、お早目のご予約をお勧めいたします。

